

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2013年11月08日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2009010043"/> 整理番号 <input type="text" value="11435"/> 担当者 <input type="text" value="小野 洋一"/>
表 題	<input type="text" value="木材パルプの反芻動物用飼料としての利用"/>
技術分野	<input type="text" value="生活・文化"/> <input type="text" value="その他"/>
適用製品	<input type="text" value="木材パルプ全般、動物用飼料"/>
目 的	<input type="text" value="牛(乳用・肉用牛)の高能力化に伴い飼料中エネルギー濃度を高める必要がある。通常はトウモロコシや大麦等を利用するが、これらの澱粉質飼料は反芻胃内の発酵を亢進させアシドーシスという病的な状況をしばしば引き起こす。木材パルプは澱粉と同様にブドウ糖を主原料としたセルロースからなり、澱粉と同等のエネルギー価を有しながら発酵性は穏やかであることから、極めて有効な高能力牛用飼料として利用できる。"/>
技術概要	<input type="text" value="本発明は、木材および/または非木材由来のパルプを含むセルロースおよび/またはヘミセルロースを、乾燥固形分として80重量%以上含有する反芻動物用飼料で、以下のものも含む。すなわち結晶化度が70%以下、乾燥工程を経ずにパルプ化されたもので水分含有量が50重量%以上、クラフト法により製造されたもの。インビトロ発酵法によりトウモロコシと同等の潜在的消化率を有しながら、消化開始までのラグタイムが大きなことから穏やかな反芻胃内発酵を示した。また牛の消化試験では乾物中TDN(可消化養分総量)が93%とトウモロコシとほぼ同等であることが示され、2012年1月の農水省資材審議会で反芻家畜用飼料としての承認を受けた。"/>

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>
会社名	<input type="text"/>
所 属	役職 <input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/> FAX番号 <input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>
連絡事項	<input type="text"/>



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp